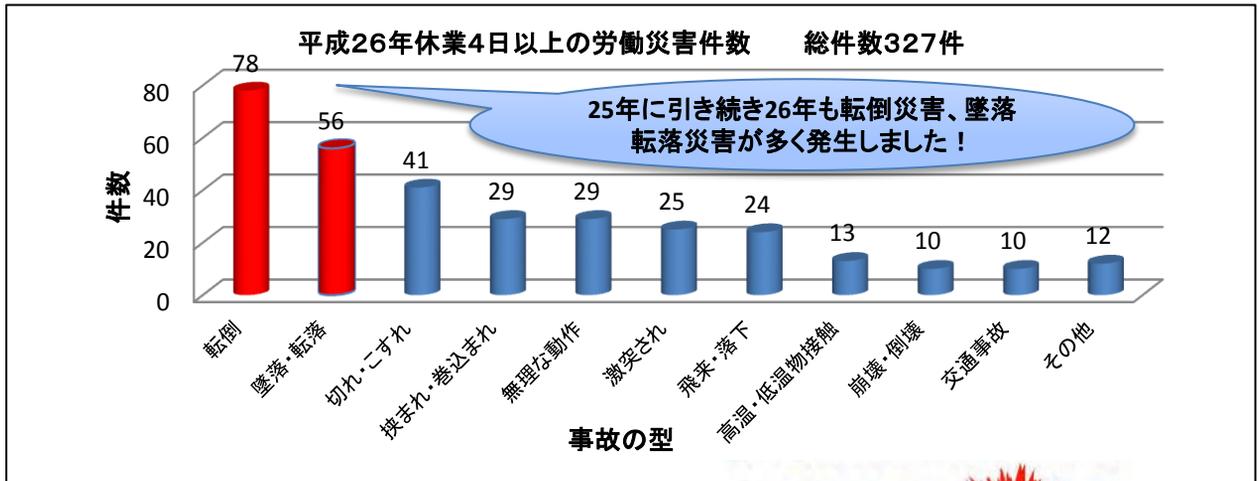


転倒、墜落・転落災害 防止のために！！

新発田署管内では、墜落・転落、転倒災害が多く発生しています。



災害事例

- ・縁石・側溝などの段差によるつまづき！
- ・濡れた床面に滑って転倒！
- ・通路上の物によるつまづき！
- ・走ってバランスを崩して転倒など



- ・濡れた踏み面に滑って転落！
- ・荷で視界が塞がれ足を踏み外し転落！
- ・暗い場所で足を踏み外し転落！
- ・脚立からバランスを崩し墜落など

墜落・転落、転倒による労働災害では骨折等の重篤な災害が発生しています。休業日数が半年を超えるケースや、完治せずに障害が残るケースなどもありますので**決して軽い災害ではありません**。裏面を参考に災害防止対策を進めましょう！



墜落・転落、転倒災害防止のポイント

1. 職場の点検を実施して、災害の要因を取り除きましょう！

- 床に水たまりなどの滑りやすい状態があった場合、すぐにふき取っていますか
- 通路、階段、出入口に物を置かないようにしていますか
- 踏台、はしご、脚立は、安定した場所で、正しい使用方法で用いていますか
- 床面、通路は、くぼみ、段差がないようにしていますか
- 通路、階段を支障なく通行できる照度を確保していますか
- 階段に滑り止めや手すりが設けられていますか
- 重い荷物を運搬するための台車を備えていますか
- 高所の床の端には、周囲に手すりや柵を設けていますか
- 屋外の滑りやすい場所での作業では滑りにくい靴を履かせていますか

2. 通行時、脚立等を使用する場合のルールを定めましょう！

・通路や階段通行時に『走らない』『ドアを急に開けない』『死角となる曲がり角などで人の確認をする』などルールを定めることで、災害防止の意識高揚を図りましょう！

・脚立、はしごを使用するときは、**取扱説明書に従った使用方法**を守って作業を行いましょう！

3. 危険予知活動(KY活動)、4S活動を推進しましょう！

・危険予知活動は**危険要因を早期発見するための安全活動**です。活動を展開することで、労働者の**危険感受性**を高めることが期待できます。

・4S活動は、**整理、整頓、清掃、清潔を行うことで、危険要因を取り除く活動**です。活動を徹底することで転倒などの災害を防止するだけでなく、作業の効率化などの副次的な効果も期待できます。

4. 『見える化』で危険要因を周知しましょう！

・職場に潜む危険などは、視覚的に捉えられないものがあります。それらを**可視化(見える化)**すること、また、それを活用することによる安全活動です。危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすく周知できます。

○**職場のあんぜんサイト**では、**労働災害事例、『見える化』事例**など各種情報を掲載しています。労働災害防止活動にご活用ください。

○厚生労働省では、転倒災害防止のために『STOP！転倒災害プロジェクト2015』を展開しています。職場のあんぜんサイト内に特設ページを設けていますので、併せてご活用ください。

職場のあんぜんサイト

検索

クリック！